

事例 製版のデジタル化による排出抑制対策

別添3

業種名	出版・印刷・同関連産業								
事業所の従業員規模	1,000人以上								
事業内容	オフセット印刷								
製造工程	製版→刷版→印刷→製本								
排出ポイント	製版用感材処理工程								
対象化学物質	ヒドロキノン(物質番号254)	用途	現像液						
排出量等の算出方法	取扱量＝購入量－年度末在庫量＋年度初在庫量＝下水道への移動量として算出								
取組内容	製版のデジタル化による現像液の使用量削減	<p>取組による排出削減効果</p> <table border="1"> <caption>取組による排出削減効果</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>下水道への移動量 (kg/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>約2,600</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>約1,800</td> </tr> </tbody> </table>		年度	下水道への移動量 (kg/年)	平成20年度	約2,600	平成21年度	約1,800
年度	下水道への移動量 (kg/年)								
平成20年度	約2,600								
平成21年度	約1,800								
取組による排出削減以外の効果	製版作業の効率化、省スペース化(フィルム出力機、ライトテーブル面積分:4m ² 程度)								
今後の展望	引き続きフィルム出力機の入れ替えを行っており、今後も下水道への移動は減少する見込み								

事例 排水処理装置(生物処理)の導入

業種名	プラスチック製品製造業	事業所の従業員規模	50～99人
事業内容	合成樹脂製造		
製造工程	アクリル樹脂製造		
排出ポイント	製造工程から発生する排水		
対象化学物質	アクリル酸メチル(物質番号6)	用途	樹脂原料
排出量等の算出方法	排水中濃度×排水量＝公共用水域への排出量として算出		
取組内容	排水処理装置(生物処理)の設置	<p>取組による排出削減効果</p> <p>公共用水域への排出量 (kg/年)</p> <p>平成20年度 平成21年度</p>	
取組の経緯	排水中のCOD削減のために排水処理装置を導入		
今後の展望	RCレポートを作成し、従業員への教育や年1回の地域住民との対話に活用		